



# NBRP-nenkin news\_No. 16

2023/10/1

発行：NBRP細胞性粘菌

## Top news

### 第5期NBRP事業の開始から1年!

昨年度4月から第5期NBRP事業がスタートしました。第5期では代表機関を理化学研究所・BDRから筑波大学に戻し事業を開始し分担機関を置かず、大阪大学をバックアップ機関とし、特段のトラブルもなくこれまで順調に運営をおこなってきました。今後ともユーザーの皆様のご支援が細胞性粘菌NBRPの原動力になりますので、より一層のご支援をよろしくお願いいたします。前回のNews Letterにも記述しましたが、第5期におきましては、一層のリソースの充実のみならず、ユーザーやコミュニティといった日本の細胞性粘菌研究の厚みを増すことを目標に掲げていますので、新規ユーザーの取り込みに力を入れていきたいと考えております。そのためのご意見、方策、アイデアがありましたら些細なことでも結構ですのでお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。また、ユーザーの皆様方も細胞性粘菌の研究リソースとしての良さをそれぞれの持ち場・立場で宣伝していただき、細胞性粘菌リソースの有効活用・コミュニティの拡大にご協力していただき、細胞性粘菌を研究リソースのスタンダードの一つとして押し上げられればと考えています。第5期におきましては、TwitterとFacebookを立ち上げましたが、有用情報はこれらのSNSを利用し迅速に情報共有を継続していきたいと考えています。

コロナ感染は続きますが、リソース事業の展開におきましても制限が大幅に緩和された状況になってきました。今後も継続的な細胞性粘菌リソースの収集・保存・提供を確実に進め、これまで好評であった対面式のトレーニングコース・オンデマンドトレーニングコースを継続し、NBRP細胞性粘菌の利便性を向上できるよう努力してまいります。皆様にも開発されたリソースの寄託、新規ユーザーの開拓へのご協力をお願いいたします。

(代表機関：筑波大学)

### Dicty Stock Center (DSC)からの代行取り寄せ!

DSCから必要なリソースをご連絡ください。NBRPで取り寄せ、品質チェック後、分譲いたします。取り寄せたリソースはNBRPで整備します。



Twitter



FaceBook

## Resource updates

### 多様なCRISPR/Casベクターが寄託されました!

昨年度に引き続き東邦大学 村本博士によりCRISPR技術を用いた様々なゲノムワイドなゲノム編集ベクターが寄託されています。

詳しくは、NBRP細胞性粘菌にお問い合わせください。

裏面に続く

## 野外採取株を多数取り揃えています!

有用化合物の新たなリソースとして細胞性粘菌が注目されています。これまでに多くの研究者から細胞性粘菌の野外採取株が寄託されています。rDNA配列を用いた種同定の情報を合わせて公開しています。“natural isolate”でNBRP細胞性粘菌ホームページの「株リソース」を検索ください。皆様の研究に是非お役立てください。

## News Digest

株リソース、遺伝子リソース共に、NBRP細胞性粘菌ホームページを通じてオーダーできます!

<http://nenkin.nbrp.jp>



皆様の研究室で開発された株、遺伝子リソースの寄託を受け付けています。一度、NBRP-nenkinに寄託していただければ、当方で保存や利用希望者への分与を行います。是非、皆様の貴重なリソースをコミュニティで共有し、研究に役立てましょう。

また、「収集して欲しいリソース」を皆様から募集しています。どんどん、下記のメールまでご連絡ください。

[nbrpnenkin@shigen.info](mailto:nbrpnenkin@shigen.info)

## NBRP細胞性粘菌 オンデマンドトレーニングコース開催中

日程：NBRP実施機関と調整 適宜開催 開催場所：筑波大学・プロジェクト棟内

応募・問い合わせ先：筑波大学生命環境系 桑山 秀一

TEL：029-853-4664 e-mail: [nbrpnenkin@shigen.info](mailto:nbrpnenkin@shigen.info)

皆様の都合のつく日時にNBRP細胞性粘菌実施機関（筑波大学）に来ていただき、必要な研究手法のトレーニングを致します。

ご希望の方は、所属、氏名、連絡先（メールアドレス）、希望される日時とトレーニング（実験）内容をご記入の上、上記のメールアドレスまでご連絡ください。

## 第13回日本細胞性粘菌学会例会（ワークショップ開催）

2023年10月21日 九州工業大学

NBRP事業について：桑山 秀一（筑波大学）

ユーザー講演：菊地 晴久先生（慶応大学）

菊地先生は20年以上にわたり、細胞性粘菌由来の天然化合物の抽出・構造解析・生理機能の解明をご研究されてきました。本講演では、細胞性粘菌を利用した天然化合物研究のこれまでの研究成果と新展開をお話ししていただきます。

有用リソース紹介：村本 哲哉先生（東邦大学）

村本先生は細胞性粘菌において、世界で最初にゲノム編集技術を確立された第一人者であり、ゲノム編集ベクターを中心に現在世界中から先生の開発したリソースの提供依頼が来ています。本ワークショップではCRISPRによるゲノムワイドな遺伝子破壊株の作製の具体例についてご講演いただきます。

## 第47回日本分子生物学会年会（実物展示予定）

2023年12月6日～12月8日 神戸ポートアイランド

日本分子生物学会でNBRP主催の実物展示を予定しています。お近くの研究者の方々に宣伝をお願いいたします。